

〈当面のスローガン〉

- ☆支部の日常活動を強化し、
強固な組織建設を勝ちとろう！
- ☆狭山第3次再審闘争に勝利しよう！
- ☆差別糾弾闘争を強化しよう！
- ☆人権の法制度を確立しよう！



部落解放同盟兵庫県連合会機関紙

解放新聞社兵庫支局
神戸市中央区山本通4丁目2番25号
兵庫人権会館内
電話 (078) 222-4747(代)
http://bl-hyogo.gr.jp/
編集発行人 坂本三郎
頒価1部 50円

長谷川豊の差別発言を許さない!!

2019年5月22日

日本維新の会
代表 松井一郎 様

部落解放同盟兵庫県連合会
執行委員長 坂本三郎

日本維新の会公認候補 長谷川豊氏による
部落差別発言に対する抗議と申し入れ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
貴職におかれましては、部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃に向けた諸施策の推進にご尽力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。
さて、今年7月に予定されている第25回参議院選挙において、貴党が比例区公認候補とする長谷川豊氏が、今年2月24日におこなった講演のようすが5月15日にYouTubeにアップされました。

講演の中で長谷川氏は「日本には江戸時代あまりよくない歴史がありました。土農工商の下に、穢多・非人、人間以下の存在がいます。でも、人間以下と設定された人たちは性欲などがあります。当然、乱暴なども働きます。一族野郎強党となって、十人、取り囲んで襲行しようとしたとき、侍は大切な妻と子どもを守るためにどうしたのか。侍はもう刀を抜くしかなかった。でも、刀を抜いたときにどうせ死ぬ。相手がプロなんだから、犯罪の」と発言しています。
今回の長谷川氏の発言は「部落民はレイプ集団、プロの犯罪者集団」という偏見を広める重大な部落差別発言であり、断じて許すことはできません。断固抗議します。

また長谷川氏は今回の自らの発言について、謝罪するどころか、「かつてこのような暗い歴史があったという史実を述べる事が差別発言ですか。これが反維新のいつものやり方です。こうやって切り取り、悪意を持ってレッテル貼り。江戸時代の時代に暗い歴史があったと述べる部分を切り取り著作者の許諾を取りもせず拡散。犯罪を平気で行うのがこの連中のやり口です」と反論しています。
2016年12月に施行された「部落差別解消推進法」は、「部落差別は社会悪」であることを明確にし、国や自治体が、問題解決に向けて積極的な施策をとることを目的としたものであり、法成立には貴党にも大変なご尽力をいただきました。
私たちは今回の差別発言が「部落差別解消推進法」の制定にむけた貴党の努力やこれまでの同和行政の成果を踏みにじるものであり、貴党の公認候補のこうした差別発言が与える大きな影響も考慮すべきであると考えます。

つきましては、今回の趣旨を真摯に受け止めていただき、長谷川豊氏への公認取り消しと、本人からの見解と謝罪文の提出を強く求めます。

7月の参院選で日本維新の会(以下、維新)公認候補として出馬予定の長谷川豊が今年2月、悪質な部落差別発言をしていたことがわかった。
東京での講演会で、部落民は「レイプ集団」プロの犯罪者集団であるかのよう

に発言。それが5月15日に動画サイトに投稿され、SNS上で拡散した。
これを受けて中央本部の組長委員と西島書記長が21日に維新の馬場伸幸幹事長と面会し、抗議文を提出。兵庫県連も翌22日、橋本書記長と田村財務委員長が兵

隊に抗議文を提出し、謝罪するどころか、「かつてこのよう暗い歴史があったという史実を述べる事が差別発言ですか。これが反維新のいつものやり方です。こうやって切り取り、悪意を持ってレッテル貼り。江戸時代の時代に暗い歴史があったと述べる部分を切り取り著作者の許諾を取りもせず拡散。犯罪を平気で行うのがこの連中のやり口です」と反論しています。
2016年12月に施行された「部落差別解消推進法」は、「部落差別は社会悪」であることを明確にし、国や自治体が、問題解決に向けて積極的な施策をとることを目的としたものであり、法成立には貴党にも大変なご尽力をいただきました。
私たちは今回の差別発言が「部落差別解消推進法」の制定にむけた貴党の努力やこれまでの同和行政の成果を踏みにじるものであり、貴党の公認候補のこうした差別発言が与える大きな影響も考慮すべきであると考えます。

維新は公認取消・除名を!

「自業自得の人工透析患者なんて、全員実費負担にさせよ!無理だと泣くならそれ」などと書いています。
長谷川はこれまでも、「自業自得の人工透析患者なんて、全員実費負担にさせよ!無理だと泣くならそれ」などと書いています。

運動家やその人たちが資金を出して、極めて暴力的な行為をする反社会勢力を巻き込んで、徹底的な抗議活動をしたんです」「しよせん金のために運動してる連中」などと書いています。

確信的な差別者であり、国会議員になる資格など全くない。
維新は長谷川の処分を公認「取り消し」ではなく「当面の停止」と発表。5月27日には松井代表が、人権問

題の専門家らによる第三者委員会を開いたうえで処分の方針を明らかにしたが(本稿執筆時点5月28日、未開催)、第三者委員会での調査しなければ、処分が必ず必要な発言かを判断できないことが、維新という党が人権を軽んじている組織であることを露呈している。差別発言の重大性を軽んじた無責任な対応であり、断じて許すことはできない。

長谷川の差別発言に抗議の声を集中させ、維新に公認を取り消させなければならぬ。
長谷川は長谷川の処分を公認「取り消し」ではなく「当面の停止」と発表。5月27日には松井代表が、人権問

視点

天皇の退位・即位の影響でGWは10連休となった。久しぶりに家族でゆっくり出かけ、子どもの笑顔を見ることができた。しかし、日雇いや日給月給の労働者は10連休を強いられ、家計に大打撃を受けた。安倍政権が進める働き方改革は、不安定就労と正規・非正規の格差を拡大させるだけである。▼新天皇即位にあわせて報道が過熱していたが、安倍政権が考える天皇の政治利用には注意が必要だ。自民党が2020年に施行をめざす改憲草案では、天皇の元首化、国旗・国歌の尊重、自衛隊の国防軍化など、戦後70年間、日本国憲法が守り続けてきた平和な社会が根底から覆されるような内容が盛り込まれている。こんな改憲は、絶対に阻止しなければならぬ。▼地域から高齢者や子どもたちの笑顔を抱やすことなく、さまざまな人と関わることで多様性を認める地域社会をつくりたい。そのためにも、夏の参議院選挙で推薦候補の当選を勝ちとらなければならないし、選挙権の重要性と、個人が思いをもって活動すること、今の不安定な情勢を変えられるというのを、青年層に浸透させていきたい。その活動を通して、子どもたちの笑顔と平和な世の中を守りたい。

参議院選挙 7/21(日) 私たちの声を国政の場へ!



安田真里さん (兵庫選挙区)



水岡俊一さん (全国比例代表)

その活動を通して、子どもたちの笑顔と平和な世の中を守りたい。